



申18号「JR東労組への支配介入・組合員への差別とハラスメント行為を 7月30日
是正し、安全で安心して働くことができる職場を求める」申し入れ

その19

組合 今交渉の問題意識を述べ、会社に厳しく指摘する!

- ・申18号交渉は9回にわたり交渉を行い、30時間を超える時間を費やした。極めて異例の交渉である。主な要因として「勤労課が責任を持って回答する」と言っていたにもかかわらず、曖昧な回答や不十分な調査により繰り返し中断を行ってきた事であり、このような姿勢は団体交渉に向き合う姿勢として不誠実である。
また、事実調査で不当労働行為やハラスメント行為を行った側の管理者しか事情を聞かない姿勢は、都合の悪い事実を隠蔽し、真実を解明する姿勢にないと指摘せざるを得ない。不誠実団交に抵触する事象であり、団体交渉の在り方を検討しなくてはならない問題である。
- ・今回の事象は、労働委員会に救済申し立てを行えば不当労働行為と認識される事象である。現場長や管理者として重責ある立場の者が行った行為は、社会的責任を問われるべきである。
- ・2018年以降、複数回にわたり不当労働行為と指摘し団体交渉を開催してきた。その都度、繰り返し発生させないために現場に厳しく指導してきたにもかかわらず、組合差別や不当労働行為が発生していることは遺憾であり、現場指導してきた勤労課の責任は重大である。
- ・今交渉で議論した内容を全管理者に伝え、再度発生した場合は厳正な処分、社会的責任を問うべきである。
- ・職場からの実態調査を基に申し入れをしてきた。多くが「会社が怖くて問題にしないではない」といった理由で明らかになっていないだけである。このような会社に絶望し、将来の不安から若い社員が離職しているのが現実である。労使で強い決意を持って二度と不当労働行為を発生させないことを確認したい。
- ・大宮地本は、職場で発生した問題は団体交渉等を通じた労使議論で乗り越えていく姿勢である。会社にそのような姿勢があることが前提であることを指摘する。

会社 調査の甘さを認める!会社の責任を持って不当労働行為をさせないことを確認!!

- ・30時間を超えてしまった点について、勤労課の調査が甘く反省し、今後このようなことが無いように取り組んでいく。
- ・不当労働行為について、二度と発生させてはいけはいというのは労使で一致している。会社としても責任を持ってやっていく。
- ・不誠実団交となることのないように信義誠実のもと対応していく。しっかりと向き合いながら対応していく。

これからも会社のチェック機能として「是々非々」で対応していきます!!